

平成 18 年度第 2 回都市計画審議会

日時 平成 18 年 11 月 22(水) 午前 9:30～11:50

会場 庄内町役場西庁舎 2 階第二会議室及び現地

出席者 佐藤多佳夫、國井和雄、松浦一字、池田勝彦、佐藤彰、中野光弥

代理出席者 庄内総合支庁建設部長代理粕谷道路計画課長、庄内警察署署長代理設楽課長

説明員 吉泉産業課主幹、佐々木商工労働係長

<会議>

1.開会

2.会長あいさつ

3.協議

(1) 庄内町都市計画の概要

都市計画区域、用途地域の現況、面積、人口について説明。

都市計画施設である街路の現状と第一回において中間経過報告した見直し作業について再度説明。

都市計画区域内の四ツ興野地内において計画されている、組合施工土地区画整理事業について説明。

地域高規格道路の一部である余目酒田道路の現状について説明。

(2) 中心市街地活性化基本計画の概要

中心市街地活性化基本計画の経過及び概要説明。特に 6 つある基本目標のうち、駅周辺再開発、米倉庫事業の二つについて説明。

あわせて、TMO 構想、イグゼあまるめの状況説明。

まちづくり三法の改正についても情報提供。

(3) 現地視察(10:15 から 11:15 までバス移動による現地視察)

暫定供用しているチャンピオン～響までの区間（廃止の代替路線）をバス移動。

南口榎木線の南口集落内計画道路予定地をバスで視察。

南口榎木線について R 4 7 から廃止検討している南口側と松陽側の現況視察。

下朝丸地区に移動し、余目酒田道路のインター予定地視察。

下梵天塚廿六木線の行止まり地点（保健センター脇）について視察。

常万廿六木線の第三公民館脇（県道砂越余目線を望む地点）の現況視察。

余目駅にてほっとホーム等視察。

(4) 意見交換

要旨

- ・米倉庫の利用について

築 70 年経過。用途変更するには建築基準法・消防法等規制あり改修経費が嵩む。（用途によるが新築以上か。）間口 1 2 間、名誉町民の設計、使用材、敷石

等々については歴史的資源。みどり農協も保存を願っている。しかし、検討委員会で「利用する」「しない」「一部する」の結論は出ていない。委員会にはみどり農協も入ってもらって検討している。

- 街路計画の見直し議論の流れの確認

県のガイドラインに基づき実施している。見直すかどうかは最終的に町が決定する。

- 街路全体について

従前は減らす見直しはできなかった。不可能か可能かはっきりすべきではないか。南口集落通ったが、そのまま計画しておくことが地元失礼ではないか。

見直し（廃止）の一方で、少しずつでも街路整備がすすんでほしい。

整備補助率昔は 2/3、今は 1/2 である。

- 下梵天塚廿六木線の整備について

八幡様までの部分は住宅密集地であり難しいのではないか。要検討である。金の問題もあるが保健センター前からの連絡町道の整備も視野に。役場等の位置が分かり易くなる。

開発計画含め用地確保の検討要する。

- 四ツ興野地区地区画含む開発について

農業委員会として四ツ興野地区地区画整理事業は今しか出来ないとして許可申請している。

開発に取り残された遊休農地について、都市計画の中で取り残すことの無いように。

四ツ興野地区地区画整理事業における避難路は新余目堰を暗渠にして確保となる。

#### 4.閉会